



# 校訓は「信頼敬愛・自主協同・熱誠努力」 日本大学第二高等学校



高校紹介の第2回は、日大二高の新野好通(しんの・よしみち)校長先生からお話を伺いました。

## ★概要

四面道と中杉通りを結ぶ「日大二高通り」沿いにある日本大学第二高等学校は、昭和2年に日本大学第二中学校として開校しました。戦後、日本大学の経営から独立し、学校法人日本第二学園を設立。昭和22年に新制日本大学第二中学校、その翌年に日本大学第二高等学校が誕生しました。生徒は、附属中の進学者240人に高校からの入学者210人を加え、一学年約450人です。校訓は「信頼敬愛・自主協同・熱誠努力」で、自分の在り方を積極的に受け止め、自己吟味しつつ前向きに生きる力「自己肯定力」の育成を重視しています。

## ★日本大学第二高校の特色

他国の青少年に比べて日本の若者達は自己肯定力が低い傾向という、ある調査機関の分析があります。自己肯定力の育成は、急激に進むグローバル化かつ予測不可能な現代社会を力強く生き抜いていくために必要不可欠だと学内で共有しています。

自己肯定力を育むには、どんな生徒にも居場所がある環境づくりが大切です。同質の環境を整え、「競い合い」からスタートするのではなく、多様性を尊重し「認め合い」から仲間と接することに重きを置いています。



教師による丁寧な進路指導

そこには多様な価値観や学力個性を持つ仲間が集まっており、さまざまな場面を通じて、教え合い・学び合うことで、自己肯定力を含めた15の資質・能力が伸長できるような環境づくりに注力しています。

日大二高は、一、三高と同じく日本大学直属の附属高ではなく、独立した学校法人が運営する「特別附属高」です。大学進学実績も個性豊か。附属校でありながら、日大への推薦進学は3分の1程

度で、国公立大や他の難関私立大への進学者が多い半付属校的進学校であることが大きな特色の一つです。理系大学への進学者も毎年40%程度を数え、文理バランスの良い学校でもあります。

## ★コロナ禍でのクラブ活動

目的も目標も多様な38のクラブを設置しています。これも、どんな生徒にも居場所がある環境づくりの一つです。運動部は、春夏合わせて甲子園に6回出場の硬式野球部や、今年も全国大会に出場しているチアダンス部、水泳部、スキー部が活発。文化部は、演劇部、書道部、華道部、吹奏楽部、フォークソング部が上位入賞を果たしています。釣り部という珍しい部活もあり、人気があります。コロナ禍では、感染症対策を講じ「短時間集中型」で活動、合宿は控えています。



全国大会出場のチアダンス部



校内の銀杏並木

## ★新野校長の思い

新野校長は、日大理工学部の大学院時代に日大二高の講師を務め、卒業後に正式な教員となり、以後40年近く進路指導を中心に携わってこられました。校長に就任されたのは2年前の2019年4月です。OB・OGのご子息の入学希望が多いのですが、「まずは、お子さんを連れてきて、在校生と話をさせてやってください」と親の思いばかりが先行しないよう、くぎを刺しているそうです。

## 日本大学第二高等学校

住所:167-0032 東京都杉並区天沼1-45-33 電話:03-3391-0223  
ホームページ:<https://www.nichidai2.ac.jp/>